

蔵の町「稲荷山」

まちなみ写真展

～ 今と、懐かしの風景と ～

千曲市稲荷山地区は、平成 26 年（2014）に県下 6 番目の重伝建地区となり、伝統的建造物等の修理修景がすすめられています。

「重伝建」とは、**重要伝統的建造物群保存地区**の略称で、文化財保護法に基づき、伝統的建造物等の価値が高いとして国が選定したものです。城下町、宿場町、門前町などの歴史的な集落・町並みを建築群として環境保存が図られるようになりました。

2026 年の今年、稲荷山宿・蔵し館の改修工事が終了し、約 3 年半ぶりに再開館します。これを機に、善光寺街道の商都の面影が残る稲荷山の町並みに、ぜひ目を向けていただきたいという思いから、写真展を企画いたしました。

古い町並みの写真は、市内の宮入好人様より、ご寄贈いただいたものです。（残念ながら、詳細な撮影時期・ご寄贈いただいた時期は不明）

この機会に蔵の町「稲荷山」の歴史を感じ、興味を持っていただけますと幸いです。

千曲市ふる里漫画館